

河辺地区の支えあい活動

るんるん 河辺

(河辺町)～第2層協議体～



令和元年に、高齢者支援課と青梅市地域包括支援センターが主催した「地域の支えあいを考える～住みなれた地域で、いつまでも安心して自分らしく暮らせるために～」へ参加された方を中心に結成されました。

高齢者がいつまでも安心して暮らせる地域の支えあいについて、地域にあった方法で考えていこうというメンバーが集まっているグループです。



メンバー
募集中です



令和元年の青梅市長所信表明の中に「あそぼうよ！青梅」という言葉があります。「るんるん河辺」という名前は、地域づくりを進めていくうえで、思い思いの青梅を楽しむ人々があふれる姿を一言で表現しています。これから話し合いを重ねていくうえで、楽しくルンルンするような話し合いをおこないたい、ルンルンと遊び心をもって過ごせるような河辺町であってほしいという思いが込められています。

活動状況

～地域とつながっていない高齢者をどのように見守るか～

- ① 負担感なく、地域のそれぞれの人が見守りを行えるように、わかりやすい見守りの視点が共有できるシート作りと、心配な状況を確認した時の相談窓口がわかるチラシの作成を考えています。
- ② チラシを配布する場所についても話し合いを行っています。

